

こんにちは、とうふです。去年夏コミ初参加させて頂き、今年はまだかの消しゴム本第2弾を発行しました！今後もラインナップを増やしていけたらと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします！

拙書と運営サイトについて、少しご紹介いたします。twitter (@102bungu) も、ぼちぼち更新ですがサイト情報等更新しております。良かったらフォロー下さいね。

New Book
新刊



消しゴムコレクション [パン編]

A5正方形 / 12P / 300円

新刊の主役は、適度なデフォルメとリアル感が共存している「パン」な消しゴム達です。1写真1ページを丸々使って、堂々とした風格のパン消しゴム達を収めました。

ぜひ、お手に取ってご覧くださいませ！



【既刊】

消しゴムコレクション
A5正方形 / 18P / 300円

サイト紹介.1

とうふ文具

<http://tofu.mylog.cc>

幼少の頃から集めてきた面白い消しゴムのコレクションを、延々と写真で紹介するサイトです。

(twitter: @102bungu)

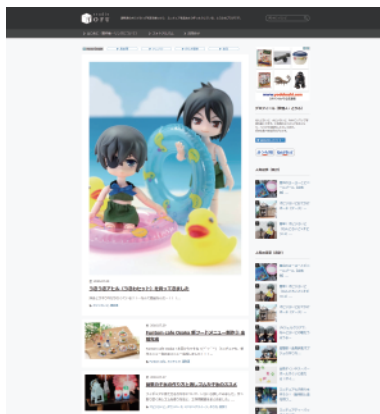


サイト紹介.2

studio TOFU

<http://tofu56.info>

黒執事のオビツろいど写真を撮ったり、簡単なミニチュアの作り方をご紹介します。



一例をご紹介します



粘土とビーズで超簡単！
「かき氷」の作り方



麻紐とペットボトルキャップ
で「麦わら帽子」



ホームセンのホースで！
「プール」の作り方

脱!! 初心者 5 つの 写真テクニック

ブログやSNSで自慢のコレクションを紹介したい!と思って写真を撮っても、何だか魅力的に撮れない...そんな経験はありませんか?

いくつかのポイントを押さえれば、ワンランク上の写真が撮れます!どんな被写体を撮るかによっても写真に必要なテクニックは変わってきますが、この冊子では、フィギュアや小物を撮る「テーブルフォト」に役立つ、5つのポイントについて解説します。

POINT

01

ライティング

【窓際+レフ板】

写真を撮る為の重要な要素の一つが、光です。あまり撮る場所を意識したことがない方はまず、撮ろうとしているものを、レースカーテンを吊った窓際に持って行って撮ってみてください。室内は思っているより暗いので、これだけでも少し明るく、綺麗に撮れますよ。

そして、レフ板*を置いてください。濃い影の部分に光がまわって、影が優しくなります。

*レフ板: コピー用紙一枚を真ん中で折り目をつけ、光の方向と対象物を挟んだ反対側に、置いてください。もしくは、白紙のスケッチブックもお勧めです。安定感と、角度を付けて置きやすいので、狙ったところに光が当たります。

点線の間の右側面が明るい! ▶

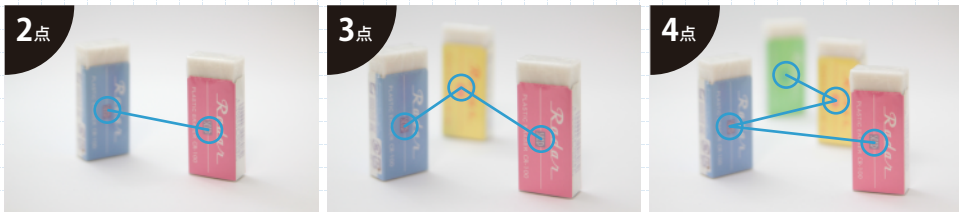
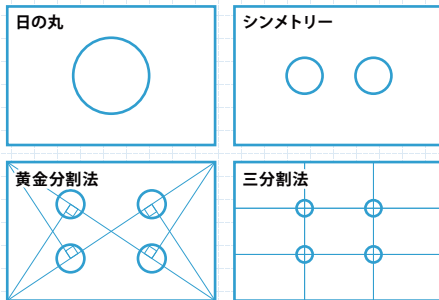


POINT

02 構図

よく使われる、優れた構図を意識しましょう。「日の丸」「シンメトリー」「黄金分割・三分割法」など、被写体をポイントとなる点に配置すると、安定した構図になります。

被写体が複数ある場合には、点数に応じてそれぞれ、下記の構図がお勧めです。



2点
距離を空けて対角に並べる
(同等なら横に並べる)

3点
くの字or Vの字

4点
互い違いのSの字

POINT

03 奥行感・演出

被写体を距離によって区別すると、「前景」「中景」「遠景」となります。前景は手前、中景は中間位置、遠景は遠くの被写体で、3要素揃っていると奥行感が出ます。

出したい雰囲気の小物を置くことで、同じ被写体でもガラッとイメージの違う写真に仕上げることができます。

アングルでも感じる
雰囲気が変わります



POINT

04 露出・ホワイトバランス

【露出補正】 白系の対象物を撮影するとき[+補正] 明るい・ふんわりした写真は基本的にこちら。黒っぽい対象物や高級感のある対象物には[-補正]をします。POINT-03のピクニック風は[+]、高級感は「-」を施すイメージです。

【色温度】 色温度とは、光の色を数値で表したものです。(単位:K ケルビン) 下記例の撮影時のライトの明るさは太陽光に近かったため、実際にはそれより低ければ青味がかかり、高ければ赤みがかって撮影されます。応用すればカラーフィルターの代用としても使えます。



オート

白熱電球
(約3200K)白色蛍光灯
(約4000K)太陽光
(約5200K)くもり
(約6000K)

POINT

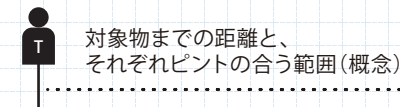
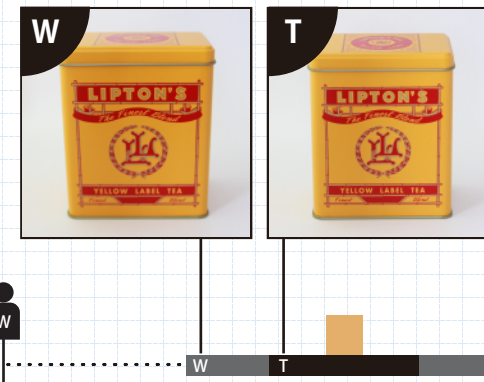
05 離れて望遠で撮影

写真をよく見ると少しゆがんでいるのは、広角で撮影しているからです。少し望遠に(いわゆるズーム)すると、見た目に近く・ゆがみが減り・ピントの合う範囲が狭まり・前後のぼけた、とても都合の良い画像が撮影できます。しすぎは禁物、適度なズームを!

小さく見える「W」:wide-angle lens
(ワイドアングルレンズ)で広角レンズ

大きく見える「T」:telephoto lens
(テレフォートレンズ)で望遠レンズ

いつもの撮影距離より少し離れて、
望遠で撮影する!!



ご覧いただき、ありがとうございました!良い写真ライフを!!